

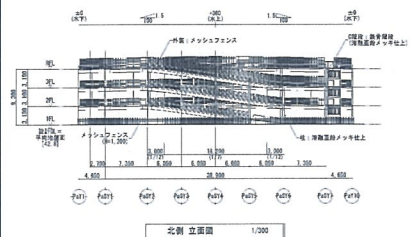
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE® 新築 [簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	PA 立体駐車場	階数	地上3F
建設地	大阪府吹田市千里万博公園23-170	構造	S造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	0 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年10月 予定	評価の実施日	2016年8月26日
敷地面積	171,486 m <sup>2</sup>	作成者	綿半鋼機 高橋
建築面積	7,033 m <sup>2</sup>	確認日	2016年8月29日
延床面積	20,545 m <sup>2</sup>	確認者	綿半鋼機 有路



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 73%  
③上記②以外の 73%  
④上記+ 73%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	温熱環境	光・視環境	空気質環境
N.A.	N.A.	N.A.	N.A.

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	耐用性	対応性
N.A.	2.8	3.6

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.2

生物環境	まちなみ	地域性・
3.0	4.0	2.5

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

建物の	自然エネ	設備システ	効率的
N.A.	3.0	5.0	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

水資源	非再生材料の	汚染物質
3.0	2.7	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	地域環境	周辺環境
4.0	3.0	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	駐車場内を原則一方通行とし、駐車時の渋滞等の緩和によりCO <sub>2</sub> 削減に努める	その他 0
Q1 室内環境	露出配線により、高いメンテナンス性を確保。	Q3 室外環境 (敷地内)
LR1 エネルギー	E R R95.4%と利用エネルギーの削減に努めている。	LR3 敷地外環境
	LR2 資源・マテリアル 建物がほぼ躯体のため、容易に分別が可能。発砲断熱材の使用なし。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム

## 大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.0:

【建物概要】	建物名称	PA 立体駐車場		
	建設地	大阪府吹田市千里万博公園23-17の一部		
	用途/区分	工場		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			4
	省エネ対策			4
	みどり・ヒート アイランド対策			3
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.0	4	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価 <small>建物全体 住戸・宿泊</small>	4	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		5.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.0
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。		報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				